

(12) 山陽学園大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2023年 4月 7日	～	2023年 9月 20日
	後期	2023年 9月 21日	～	2024年 3月 31日
試験期間	前期	2023年 7月 28日	～	2023年 8月 3日
	後期	2024年 1月 30日	～	2024年 2月 5日
授業時間	1限	9:00	～	10:30
	2限	10:45	～	12:15
	3限	13:05	～	14:35
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)

【所在地】〒703-8501 岡山市中区平井1丁目14-1



直行バス

JR岡山駅前
①番のりば

約20分

大学構内

始業時と終業時に
直行バスを運行しています

路線バス

JR岡山駅前
①番のりば

約10分

天満屋
バスステーション
①番のりば

約15分

山陽学園大学
短大前下車

路線バスは、日中10分おきに運行しています。

岡電バス「山陽学園大学経由」の下記の便に乗車ください。

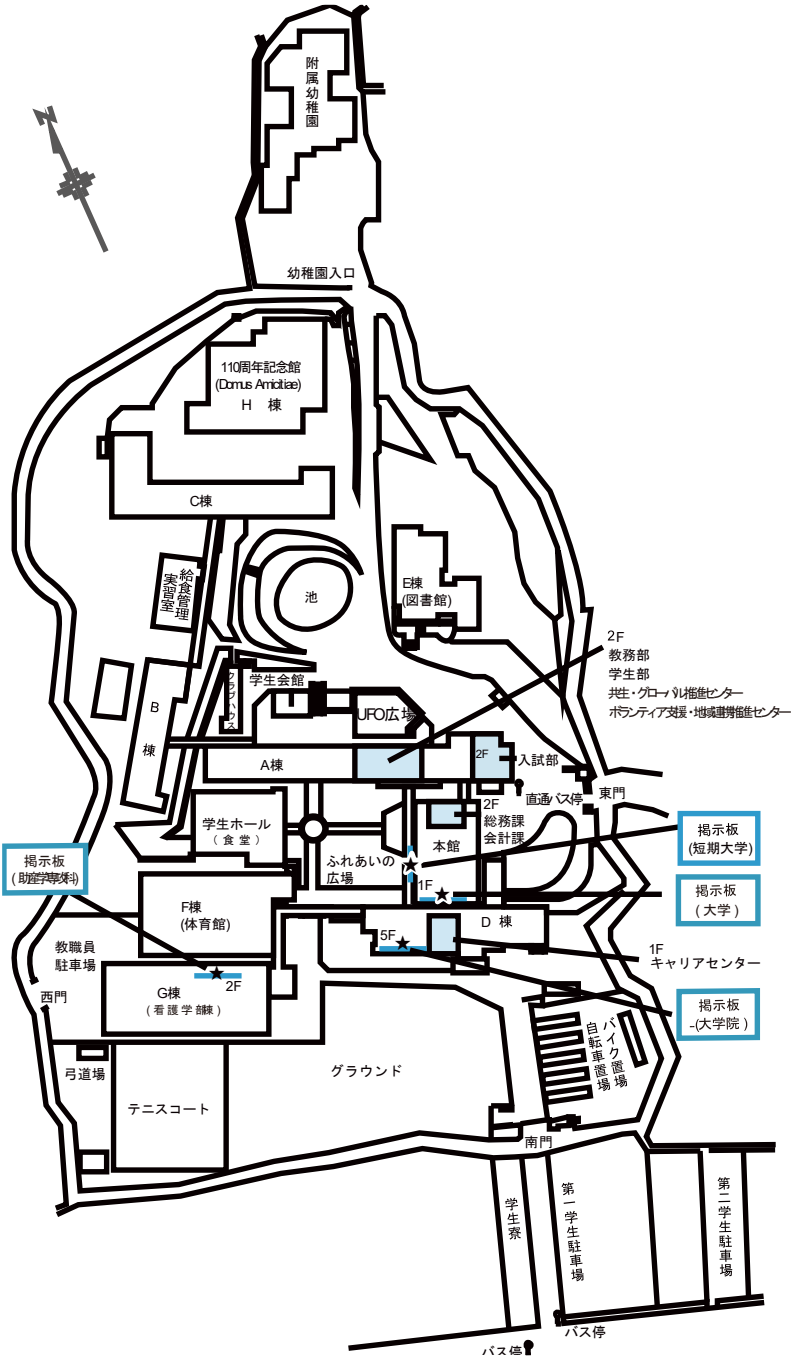
■新岡山港行き ■岡山ふれあいセンター行き ■三幡南行き

※路線が異なる便もあります。必ず「山陽学園大学経由」の便にご乗車ください。

③ 担当窓口

教務部教務課

所在地: A棟2階事務室



電話:

086-272-6254(代表), 086-901-0503(教務部直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・履修申込期限

「出願方法について」の申込受付期間に記載のとおり

・履修手続

【対面授業科目を履修する方】

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。教務部窓口まで受け取りに来てください。書類の受け渡し、講義室の場所等の説明を行うため、初回は時間に余裕を持ってきてください。

- ①履修ガイド(抜粋)
- ②授業時間割表
- ③単位互換履修生証
- ④図書館利用案内
- ⑤駐車許可証(必要な方のみ)

・施設利用

【対面授業科目を履修する方】

山陽学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・食堂等が利用可能です。利用方法については窓口・受付等でお尋ねください。

・特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://www.sguc.ac.jp/student/syllabus/>

・対面授業科目

対面授業				12001
日中関係史			班 偉	
History of Japan—China Relations				
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>日中関係は近年、尖閣諸島領有権などの問題を巡って悪化と好転を繰り返してきた。この講義では、様々な日中外交問題を取り上げて解説し、それぞれの背景・経緯・双方の言い分・交渉の過程などを解説しながら、日本国家の対中戦略並びに安全保障政策などについて分析する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回：日中外交の現状と問題点 第2回：国交正常化への道程 第3回：平和友好条約の締結 第4回：冷戦終結と両国関係の悪化 第5回：歴史認識を巡る三つ巴の闘い 第6回：靖国神社参拝を巡る対立 第7回：歴史教科書検定の問題 第8回：尖閣諸島の領有権を巡る衝突 第9回：東シナ海ガス田開発の問題 第10回：「有終の美」を飾る円借款 第11回：国連安保理常任理事国入りの問題 第12回：日米中の新三国志 第13回：ロシアとの三角関係 第14回：朝鮮半島を巡る駆け引き 第15回：アジア外交で綱引きを</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>高原明生 等編『日中関係史 1972－2012 政治』東京大学出版会 2012 年</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>レポート評価60%、出席点40%。10回以上出席しないと評価できない。</p>				

対面授業				12002
アジアの歴史と文化			谷一 尚	
A Study of Asian History and Culture				
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 4大文明発祥地の2つであり、また我国の文化とも底流で深く繋がっているにもかかわらず、本質的理解があまりなされていないアジアの歴史と文化を、7世紀に中国から中央アジアを経てインドまで往還し、正確で詳細な記録を残した玄奘三蔵に焦点を当て、その地域の現在までの歴史と文化を、発掘出土資料や、担当者が現地に赴き撮影した画像資料を用いて、わかりやすく概観します。				
【授業内容】 第1回：導入 第2回：中国1(高昌と紙) 第3回：中国2(クチャと連珠文) 第4回：キルギス1(アク・ベシムと発掘) 第5回：キルギス2(タラスと絹) 第6回：ウズベキスタン1(マラカンダとアジアのコーカソイド) 第7回：ウズベキスタン2(テルメズと仏教) 第8回：アフガニスタン1(バーミヤン石窟の破壊) 第9回：アフガニスタン2(ベグラームの宝庫) 第10回：パキスタン(ガンダーラの山岳寺院) 第11回：ネパール(ルンビニと果樹園) 第12回：インド1(サーヘト・マヘトと祇園精舎) 第13回：インド2(クシナガラと舍利) 第14回：インド3(ナーランダールの学院) 第15回：まとめ				
【テキスト】 特にありません。				
【参考図書】 谷一尚他『世界ガラス工芸史』美術出版社、菅谷文則『三蔵法師が行くシルクロード』新日本出版社				
【成績評価の方法】 各回授業で小レポートを求め、総得点合計で成績をつけます。				

対面授業				12003
日本文学特講			佐藤 雅代	
Special Topics in Japanese Literature				
履修年次 3～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 <p>『源氏物語』の中から様々な情景を選び出し、絵画化した「源氏絵」は、物語の成立からほとんど時を経ずして生み出された。中でも、平安時代後期に成立したと推定される国宝「源氏物語絵巻」は、『源氏物語』の絵画化例として現存最古のものである。「源氏絵」によって、『源氏物語』の作品世界がどのように創造され、享受されたのかを考察する。</p>				
【授業内容】 第1回: 授業のガイダンス 第2回: 源氏物語と絵画 第3回: 桐壺巻における絵画化の場面を読み解く 第4回: 夕顔巻における絵画化の場面を読み解く 第5回: 若紫巻における絵画化の場面を読み解く 第6回: 末摘花巻における絵画化の場面を読み解く 第7回: 葵巻における絵画化の場面を読み解く 第8回: 花散里巻における絵画化の場面を読み解く 第9回: 須磨巻における絵画化の場面を読み解く 第10回: 明石巻における絵画化の場面を読み解く 第11回: 蓬生巻における絵画化の場面を読み解く 第12回: 柏木巻における絵画化の場面を読み解く 第13回: 鈴虫巻における絵画化の場面を読み解く 第14回: 夕霧巻における絵画化の場面を読み解く 第15回: 御法巻における絵画化の場面を読み解く				
【テキスト】 テキストは使用せず、プリントを使用する。				
【参考図書】 『すぐわかる源氏物語の絵画』東京美術(田口榮一監修) 推薦図書 『世界一わかりすぎる源氏物語』角川ソフィア文庫				
【成績評価の方法】 欠席6回で提出資格を失う。原則として、以下の基準で評価する。授業に取り組む姿勢30%、提出された課題70%				

対面授業				12004
日本作家作品研究			高嶋 哲夫	
Study of Japanese Literary Writer and Work				
履修年次 2～4	2単位	集中9月	—	
【授業の目的】 小説とメディアの将来的なコラボレーションについて、担当者自身の例などから考慮する。活字と映像での表現の各種方法の違いを考えよう。 また、岡山県の文学についても紹介したい。				
【授業内容】 第1回：自己紹介・小説家の仕事について 第2回：小説家の仕事 第3回：映画と小説 ～その関係性とできあがるまで～ 第4回：映画と小説 ～実際に映画化された小説～ 第5回：マンガと小説の関係 第6回：小説の書き方 第7回：「三部作」ができるまで 第8回：吉備路文学館について ～岡山の作家たち～ 第9回：吉備路文学館について ～岡山の文学について～ 第10回：15枚の小説 第11回：テレビドラマと小説 ～映画との違い～ 第12回：テレビドラマと小説 ～小説との関係性～ 第13回：好きな小説 第14回：何か書いてみよう 第15回：まとめ				
【テキスト】 なし				
【参考図書】 『ミッドナイトイーグル』『イントルーダー』『風をつかまえて』『熱砂』(文春文庫) 『都庁爆破!』(宝島社文庫) 『首都崩壊』(幻冬舎文庫) 『いじめへの反旗』(集英社文庫)				
【成績評価の方法】 レポート提出				

対面授業				12005
感情・人格心理学			松浦 美晴	
Psychology of Emotion and Personality				
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 感情の中には、欲求、気分、情動など、様々なものが含まれ、機能を果たしている。また、人格は、私たち一人ひとりの認知・感情・行動を特徴づけるものであり、そのとらえ方、考え方には様々なものがある。本講義では、感情・人格の古典的な理論から、最近の研究までを取り上げ、解説してゆく。				
【授業内容】 第1回：感情の基礎 第2回：感情の生物学的基礎 第3回：感情の理論(1)古典的理論 第4回：感情の理論(2)基本的感情説と次元説 第5回：感情と行動 第6回：感情の測定 第7回：援助行動・共感性 第8回：感情の制御 第9回：エンターテインメントと感情 第10回：人格の概念 第11回：知的機能の個人差 第12回：人格の形成と変容 第13回：人格の理論 第14回：性格5因子論 第15回：人格の障害				
【テキスト】 プリントを配布する。ほかに必要があれば指示する。				
【参考図書】 濱 治世・鈴木直人・濱 保久（2001）感情心理学への招待 サイエンス社				
【成績評価の方法】 学期末レポート(90%)に、受講態度(10%)を加えて評価を行う。				

対面授業		12006		
経営学概論		西川 英臣		
Fundamentals of Management				
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 経済は生産と消費から成り立っており、その中心に位置するのが企業です。経済学が経済現象について学ぶのだとすれば、経営学は経済のメインプレイヤーの一人である企業の経済活動(経営)について学びます。たとえば、トヨタ自動車はグループで従業者約37万人、売上高約31兆円です(2022年3月期)。トヨタの従業者数は山形市の人口(25万人:2015年)を上回り、売上高は一国のGDPに匹敵して国別ランキングの40位台に相当します。また、日常生活を取り巻く製品・サービスのほとんどは企業が生み出したものです。ニュースを見ると、企業やその経営に関わる報道が溢れています。企業は社会全体そして個々人の生活にまで多大な影響を及ぼす存在なのです。本講義では、企業経営に関する基礎的な知識と現代の企業経営における課題について、幅広く学んでいきます。授業は講義を中心としますが、授業内容に関するディスカッションも行ってもらいます。また、授業後には復習課題を出します。</p>				
<p>【授業内容】 第1回:経営と企業:顧客の創造 第2回:業界・組織の形態:業種・業態、独占・寡占、非営利組織、第3セクター 第3回:株式会社の仕組み:株式、株主、上場、ステークホルダー 第4回:企業組織の構造:マネジメントサイクル、職能別組織、事業部制組織 第5回:労働とマネジメント:モチベーション、終身雇用、労働三権、労使関係 第6回:企業の経営戦略:経営環境、競争戦略、事業の定義 第7回:企業の成長:合併買収(M&A)、経営の多角化 第8回:ものが売れる仕組み:マーケティング、顧客価値、STP、4P 第9回:ものを作る仕組み:フォードシステム、トヨタシステム、垂直統合、SCM 第10回:経済社会と企業経営:GDP、高度成長、リーマンショック、コロナ不況 第11回:グローバル化と企業経営:国際パートナーシップ、異文化マネジメント 第12回:企業倫理:CSR、コーポレートガバナンス、コンプライアンス、SDGs 第13回:キャリアデザイン:キャリア、キャリアアンカー 第14回:経営学の広がり:ファミリービジネス、非営利組織、第3セクター 第15回:まとめと現代の企業</p>				
<p>【テキスト】 特に指定しません。プリントを配布し、それに沿って講義を進めます。</p>				
<p>【参考図書】 『はじめの一步 経営学』守屋貴司・近藤宏一、ミネルヴァ書房、2012年。 『はじめての経営学』東洋経済新報社、2013年。 『1からの経営学 第3版』加護野忠男・吉村典久、碩学舎、2021年。</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験:60%+復習課題:40% 詳細な評価方法・基準については第1回の授業時に説明します。</p>				

対面授業				12007
農業経済学			横溝 功	
Fundamentals of Agriculture and Agribusiness				
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 農産物の生産は人の生活に根ざしたものがあ。とくに、稲作・酪農畜産・果樹園芸の各領域に関する方法論は、伝統的・経験的知識と共に科学的手法が導入されてきた。ここでは、その領域ごとの方法論について講義する。そして、農産物の生産が産業構造の中で果たす役割について、とくに2次産業、3次産業との関係、また2次・3次産業間の内容の融合についても講義する。</p>				
<p>【授業内容】 第1回：戦後から安定経済成長期へ 第2回：バブル崩壊以降の経済 第3回：わが国と他の先進国の農地の比較 第4回：英国における農業革命と産業革命 第5回：わが国の風土と水利 第6回：貿易自由化と保護 第7回：比較優位と貿易の利益 第8回：ニューノーマル(新常态)を考える 第9回：米の自由化と需要の減少 第10回：酪農の制度と技術 第11回：肉用牛の制度と技術 第12回：果樹園芸の制度と技術(1) —果実を対象に— 第13回：果樹園芸の制度と技術(2) —野菜を対象に— 第14回：農業と経済 第15回：農業経済のとりまとめ</p>				
<p>【テキスト】 必要に応じてレジメを配布する。</p>				
<p>【参考図書】 生源寺真一『農業と人間 食と農の未来を考える』岩波現代全書、2013年、東京、ISBN978-4-00-029114-9</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末テスト60点、小試験20点、出席における態度と熱意20点で評価する。</p>				

対面授業			12008	
中小企業論		西川 英臣		
Small and Medium Enterprises				
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 中小企業は、大企業と比較して知名度がないため、一見すると見劣りのする、さして重要な存在ではない様に思われがちです。しかしながら、日本の企業数の99.7%は中小企業であり、日本の従業者数の約7割が中小企業によって雇われています。このことからわかるように、日本経済において中小企業は大きな役割を担っています。本講義では、中小企業とは何か、どのような特徴を持っているか、日本経済の中でどのような役割を果たして来たのかを学びます。加えて、地域経済や特定の業種における中小企業の現状や情報化といったトピックについても具体的な事例を使いながら、解説します。授業は講義を中心としますが、授業内容に関するディスカッションも行ってもらいます。また、授業後には復習課題を出します。</p>				
<p>【授業内容】 第1回：中小企業とは何か？：中小企業の定義、中小企業認識、実態、多様性 第2回：日本の中小企業の歴史：戦前、高度成長期（1950-60年代）、安定成長期（1970-80年代）バブル崩壊後（90年代以降） 第3回：中小企業政策①：政策の実施主体、中小企業基本法、中小企業庁 第4回：中小企業政策②：中小企業憲章、地方自治体の中小企業政策、小規模企業振興と商工会議所 第5回：中小企業経営の特徴：ファミリービジネス、生業的経営、事業承継 第6回：中小企業の労働：中小企業の経営者、中小企業の労働者、中小企業のキャリア教育 第7回：中小企業金融：日本の金融システム、中小企業金融の実態、地域金融の実態 第8回：下請中小企業：下請とは何か？、下請をめぐる議論 第9回：中小製造企業：ものづくり中小企業、タイミングコントローラー、町工場の存立 第10回：中小商業：商店街の現状と役割、大規模店舗の出店の影響、チェーンストアと中小企業 第11回：中小企業と地域①：地域における企業集積、地域開発と中小企業 第12回：中小企業と地域②：外来型開発の失敗、地方創生、地場産業と伝統的工芸品 第13回：事例①：企業城下町と下請企業 第14回：事例②：脱下請 第15回：まとめと現代の中小企業域市民としての中小企業、地方創生</p>				
<p>【テキスト】 特に指定しません。プリントを配布し、それに沿って講義を進めます。</p>				
<p>【参考図書】 『よくわかる中小企業』関智宏編著、ミネルヴァ書房、2020年。 『中小企業白書』中小企業庁編、各年版</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験：60%＋復習課題：40% 詳細な評価方法・基準については第1回の授業時に説明します。</p>				

対面授業				12009
地域マネジメント入門			中村 聡志	
Introduction to Regional management				
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 これから地域マネジメントを学ぶ学生に対し、地域に関わる基本的な諸概念を改めて検討し直し、地域住民の生活の質の維持・向上を目指して地域の諸側面の活動を活発化させること、すなわち地域活性化とは何か、それを実現するためにどのような地域の経営(マネジメント)が必要か、その全体像を示す。特に、具体的な事例検討を通じた学習(ケーススタディ)に力点を置く。</p>				
<p>【授業内容】 第1回:オリエンテーション:この講義が目指すもの、講義の進め方 第2回:地域とは何か:地域の概念 第3回:地域とは何か:地域を構成する主体 第4回:地域がかかえる問題:人口 第5回:地域がかかえる問題:経済、社会 第6回:地域活性化とは何か:地域活性化の概念 第7回:地域活性化とは何か:地域活性化を押し進める要因 第8回:地域資源の利活用:地域資源とは何か 第9回:地域資源の利活用:事例検討1-1 岡山県備前市日生 作業 第10回:地域資源の利活用:事例検討1-2 岡山県備前市日生 解説 第11回:地域資源の利活用:事例検討2-1 岡山県真庭市 作業 第12回:地域資源の利活用:事例検討2-2 岡山県真庭市 解説 第13回:地域マネジメントとは何か:ビジネスを通じた地域活性化 第14回:地域マネジメントとは何か:事例検討3 岡山県岡山市 第15回:講義全体の振り返り</p>				
<p>【テキスト】 『地域マネジメント草書:岡山の地域づくりに学ぶ』, 白井信雄・中村聡志・松尾純廣編著, 大学教育出版 『事例に学ぶ地域づくり』, 澤俊晴・西村武司編著, 大学教育出版 その他コピー等を配布する。</p>				
<p>【参考図書】 講義の中で指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 通常課題60%、期末レポート20%、講義に臨む態度20%で評価する。</p>				

対面授業				12010
地方自治論			菅野 昌史	
Local Government				
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 2020年にはじまった新型コロナウイルスの感染拡大への対応など、地方自治体は私たちの生活に関わるさまざまな活動を行っている。また、地方分権改革の推進、地方創生の取組みなど、地方自治体に求められる役割は近年ますます拡大しつつある。この授業では、そうした地方自治の仕組みについて、地方自治法に即しながら説明する。また、できるだけ最近の事例を紹介することで、受講者各自が地方自治体が直面する課題について自分事として考えるきっかけを提供したいと考えている。また、第10回の授業では、住みたい地域をつくるためにあったらいいと考える条例をテーマとして、グループワークを実施する予定である。</p>				
<p>【授業内容】 第1回：ガイダンス：日本国憲法と地方自治(テキストChap.1) 第2回：地方自治の歴史：戦前・戦後の展開(テキストChap.2) 第3回：地方自治体の種類：普通地方公共団体・特別地方公共団体(テキストChap.3) 第4回：住民の権利と義務：住民の意義、直接請求、住民投票(テキストChap.4) 第5回：自治体の事務：自治事務・法定受託事務(テキストChap.5) 第6回：国による関与：関与、国地方係争処理委員会(テキストChap.6) 第7回：自主行政権①：まちづくり(テキストChap.7) 第8回：自主行政権②：情報公開、個人情報保護(テキストChap.8) 第9回：自主財政権：地方自治体の歳入・歳出と財産(テキストChap.9/Chap.14) 第10回：自主立法権：条例と規則、条例制定権の限界(テキストChap.10) 第11回：自治体の組織①：議会と長(テキストChap.11) 第12回：自治体の組織②：委員会と委員、監査の仕組み(テキストChap.12) 第13回：住民による自治体のチェック：住民監査請求、住民訴訟(テキストChap.13) 第14回：自治体職員が守るべき約束事：地方公務員法(テキストChap.15) 第15回：全体の振り返り：これまでの授業内容の復習及び確認テストを行う。</p>				
<p>【テキスト】 『自治体職員のための ようこそ地方自治法』(第3版), 板垣勝彦, 第一法規, 978-4-474-06924-4</p>				
<p>【参考図書】 授業の中で適宜指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業終了時に毎回提出してもらおうリアクションペーパー等、授業への取組み(40%)、第15回で実施する確認テストの成績(60%)で評価する。なお、リアクションペーパーには、単なる感想だけでなく、分からなかった点、授業内容を踏まえて自ら考えたことも書くようにすること。</p>				

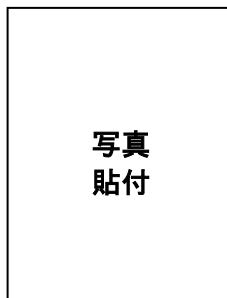
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

山陽学園大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな	氏名		印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別 男・女	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成 年 月 日		
現住所	〒 - - Tel () - -				

* 履修受付締切日：前期：4月6日(木)まで 後期：9月20日(水)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
12001	日中関係史	専門	班 偉	2	後期	2~4		木 9:00~10:30		
12002	アジアの歴史と文化	専門	谷一 尚	2	前期	1~4		火 9:00~10:30		
12003	日本文学特講	専門	佐藤 雅代	2	前期	3~4		火 13:05~14:35		
12004	日本作家作品研究	専門	高嶋 哲夫	2	前期	2~4		9月集中		
12005	感情・人格心理学	専門	松浦 美晴	2	前期	2~4		木 13:05~14:35		
12006	経営学概論	専門	西川 英臣	2	前期	1~4		月 9:00~10:30		
12007	農業経済学	専門	横溝 功	2	前期	1~4		月 10:45~12:15		
12008	中小企業論	専門	西川 英臣	2	後期	1~4		月 16:30~18:00		
12009	地域マネジメント入門	専門	中村 聡志	2	前期	1~4		木 16:30~18:00		
12010	地方自治論	専門	菅野 昌史	2	前期	1~4		火 14:50~16:20		

対面授業科目

写真提出枚数 (カラー, 4cm×3cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用(本紙)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	0 枚	2 枚